あなたの声を政策として提案、議会・行政改革をあなたの先頭になって行います！

こどもと みんな 佐倉のために

佐倉市議会議員　無所属　佐倉ひまわり会代表

# 宇田（うだ） みおこ

宇田みおこＨＰ

佐倉ひまわり通信　第11号　令和元年10月

この度の台風15号で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
また、市民の皆さまにご不便をおかけしたこと心よりお詫び申し上げます。
課題解決のため「佐倉市議会災害対応マニュアル」の作成が急務と感じております。
おかげさまで議員になり半年が経ちました。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

宇田みおこ

## 佐倉市議会議員の費用弁償廃止を提議

**令和元年8月定例会、会派代表者会議で、「佐倉市議会議員の費用弁償廃止」を提議致しました。千葉県内37市のうち、市議会議員に費用弁償を支給しているのは佐倉市と君津市、富津市、匝瑳市、鴨川市、勝浦市の6市のみです。佐倉市が行財政改革を進める中、佐倉市議会議員自らが歳出削減に取り組む必要があります。これまでの旧態依然とした佐倉市議会を改革しなければなりません。宇田みおこは、私利私欲にとらわれず・是々非々・市民目線を貫くことをお約束します。**

### 8月定例会会派代表者会議に議員の費用弁償廃止を提議

佐倉ひまわり会は、平成26年佐倉市議会2月定例会に「陳情第31号　県下10万人以上の都市のうち佐倉市のみで実施されている議会開催時の交通費の支給（費用弁償）の廃止を求める陳情書」を提出致しました。

付託委員会である総務常任委員会では「賛成なし」で不採択。本会議でも「賛成少数（当時の賛成議員は、松原章議員、上ノ山博夫議員、萩原陽子議員、富塚忠雄議員）」と残念ながら不採択となりました。

平成30年度決算では、3年連連続単年度収支赤字、経常収支比率は、94．1％と依然として厳しい財政状況が続いており、経常的経費の削減が必須です。また、市民の皆さまに公共施設の利用料等ご負担をお願いしている中、財政改革を率先して行うべき議会は、議員自らが襟を正し、財政上の効果は少なくとも、議会が率先して経費削減を行うべきです。

幸いなことに8月定例会の会派代表者会議の場で、最大会派「さくら会」中村孝治代表から、議員の費用弁償の廃止に関しては、近隣団体等の状況を聞いたうえで、検討の是非を含めて考えたいとのご意見がありました。

次回、11月定例会の会派代表者会議の場で、各会派の意見が出される予定です。費用弁償廃止のために、皆さまのお力をお貸しください。よろしくお願い致します。

**☆費用弁償支給中の6市**

- ●佐倉市（人口175，478人、議員定数28）
- ●君津市（人口84，332人、議員定数24）
- ●富津市（人口44，498人、議員定数16）
- ●匝瑳市（人口36，466人、議員定数18）
- ●鴨川市（人口32，897人、議員定数18）
- ●勝浦市（人口17，325人、議員定数15）

**☆近隣市の費用弁償の実態**

- ●千葉市　平成20年4月支給停止
  （人口978，158人、議員定数50）
- ●八千代市　平成20年4月支給停止
  （人口198，965人、議員定数28）
- ●成田市　支給実績なし
  （人口132，883人、議員定数30）
- ●四街道市　平成20年4月支給停止
  （人口　94，228人、議員定数20）
- ●八街市　平成17年支給停止
  （人口　69，932人、議員定数22）
- ●印西市　平成11年4月支給停止
  （人口101，406人、議員定数22）

**☆佐倉市議会が支給中の費用弁償の内容**

市議会が公式に開催する本会議、常任委員会、議会運営委員会、会派代表者会議、全員協議会、予算・決算説明会、議会が主催する意見交換会等すべての会議に支給。交通機関を利用した場合は、その実費、車賃は1㎞につき37円。

### 所属委員会

- ●議会運営委員会
- ●建設常任委員会
- ●広報公聴委員会

### プロフィール

1964年　生まれも育ちも佐倉。
夫（社会福祉法人経営）・息子2人（大学生）と新臼井田在住。息子夫婦・孫2人（ノルウェー在住）。
東洋女子短期大学英語英文科卒。在米女子柔道の母故福田敬子先生（柔道十段）宅ホームステイ。フィリピンセントルイス大学合格。同国にて神学校等ボランティア。
ODAシンクタンク（財）国際開発センター、ノーベル平和賞受賞ICBL傘下（特活）JCBL地雷廃絶日本キャンペーン、（株）日本フイッシャ、（社福）下総プリンスクラブ他。
地域活動　花壇の手入れ、絵本読み聞かせ、高齢者施設慰問、自治会パトロール、踊りの会、地雷廃絶日本キャンペーン会員他。
趣味　日舞、太極拳他。　柔道初段。

発行：宇田みおこ　〒285-0862　佐倉市新臼井田21-9　TEL/FAX043-489-2061　MAIL: udamioko@gmail.com

# 佐倉市議会報告　令和元年８月定例会 2019/08/26~2019/09/25 31Days

## 岩名運動公園内の陸上競技場の名称を小出義男記念陸上競技場に改める条例案

故小出義男氏の偉大な業績と市への多大なる貢献に対しては心より感謝しております。しかしながら、1．財政面・緊急性、2．市民協働との合理性の観点から反対した。

名称変更にかかる看板設置等の予算は56万5千円。財政状況が厳しい中、限られた財源で、**台風15号による被害者の方々への支援を最重要、最優先で行うことが急務である。**

今回の災害対策の問題点、課題点を挙げればきりがない。災害対策、復興支援にも更なる予算を組む必要が生じる。今回の名称変更事業は不要不急の事業であり、先送りすべきである。

今回の名称変更に関し行政は、「佐倉市市民協働の推進に関する条例　第3章　政策形成過程参加手続（政策形成過程参加手続の実施）第7条　第2項（1）軽微なものと認められる場合には、政策形成過程参加手続の実施を要しない。」にあてはまるとし、**事前に市民への周知をせず、意見公募等も行っていない。**

岩名運動公園には、莫大な市の予算が投入されており、市民の大切な財産である。今回の名称変更は、市民にとって決して軽微なものではない。**佐倉市の主役は行政でも市長でもなく、市民であることは言うまでもなく、市民協働との合理性がないと判断した。**

☆残念ながら、賛成多数により議案通り可決。
＊順不同、敬称略
**賛成17**　さくら会、自由民主さくら、公明党、斎藤明美、高橋とみお
**反対9**　オンブズひまわり会、市民ネット、共産党、玉城清剛、稲田敏昭

## 宇田みおこ　8月一般質問内容

★佐倉市議会ホームページ本会議録画配信中

### 1．経常的経費の削減　6月議会に続き質問

**問**　平成29年度経常収支比率県内団体の平均値91．0％に対し、佐倉市はワーストワン98．3％である。理由と今後の目標値を問う。

**答**　生活保護費給付報告数値の誤りに伴う過年度返還金との相殺などで普通交付税が、約15億円減額となったため。類似団体の平均値以下を成果指標と設定している。

### 2．高齢者・妊産婦・子育て世代等への福祉サービスの充実　6月議会に続き質問

**問**　高齢者（運転免許証自主返納者を含む）・妊産婦・子育て世代等へのタクシー利用助成制度の現在の検討状況・進捗状況について問う。

**答**　タクシー利用料金の助成も含め検討する。

**問**　高齢者ドライバーへの緊急措置、安全装置を取り付ける器具に対する補助金制度の確立の現在の検討状況・進捗状況について問う。

**答**　喫緊の課題だと認識している。制度の早期の確立に向けて前向きに検討を進めていく。

**問**　南部地域からJR佐倉駅と聖隷・東邦病院を直通で結ぶ公共交通の確保が必須である。

**答**　南部地域から聖隷病院等へ、円滑な乗り継ぎや乗りかえの回数が少なくなるよう路線バス運行会社ちばグリーンバス（株）へ要望する。

**問**　中央公民館の利用者は、平成30年度　10万4，261人である。また、第5次佐倉市総合計画書素案の重点目標に、健康寿命の延伸、生涯活躍の場の創出、生きがいづくりへの支援を推進するとある。バス停から公共施設間の歩行困難な高齢者の利用が多い。バス停や駅等から離れた場所にある公共施設と駅とを結ぶ公共交通機関の確保が、高齢化社会には必須である。

**答**　市内の公共施設は、ほとんどが公共交通機関を利用できる状況にある。お年寄りの外出時の利便性に配慮した支援制度は、タクシー利用の助成制度や移送サービスなどについて検討していく。

### 3．真野台・染井野地区に隣接する開発後の交通安全対策　6月議会に続き質問

**問**　6月議会では、通学路の安全対策を地域の方々と共に考えるとの答弁。具体的な計画は？

**答**　例えば外側線の設置による歩行空間の確保など、開発事業の完了時期までに地域の方々の意見を聞きながら具体的な検討をしていく。

### 4．鳥獣被害防止対策　6月議会に続き質問

**問**　ハクビシンによるトウモロコシ被害等、農家の方が大変困っている。対策を問う。

**答**　産業振興部、環境部と連携し、金網製の箱わなによる捕獲等の設置に取り組む。

**問**　イノシシ・ハクビシン・アライグマが増加している。手遅れになる前に、鳥獣被害対策課等の専門チームの設置が必要と思う。見解を問う。

**答**　機動的な対応が必要な場合には組織体制の検討の必要性も生じる。今後研究していく。

### 5．公共施設のこれからのあり方（ミレニアムセンター佐倉）

**問**　佐倉市民防災啓発センター廃止へのプロセスと後利用のビジョンについて問う。

**答**　市民防災意識の高揚や地域防災活動進展等が一定の成果を得た。平成29年11月に防災集会所及び地震体験車を除き廃止を決定。後利用は市民ニーズを踏まえ、利便性や市全体の公共施設との調和ある活用方法を検討する。

**問**　積極的に若い世代の声を取り入れたセンター活用が、少子化問題を解決するために重要。

**答**　後利用検討には、まず施設の現状、駅近という利点、これらを精査、分析し、その方向性を定めることが肝要。必要に応じて、利用者となる市民のご意見をいただく方法として、議員提案のブレーンストーミングを初め、適切な手法を用いて積極的に意見の聴取に努めたいと考えている。

**問**　市長の公約に「子育てする親には佐倉をふるさととして子供を産み育ててよかったと思える施策を実施」とある。少子化対策利用を要望。

**答**　少子化対策として利用することも含め、幅広く検討し、立地、特性などを生かした魅力ある施設となるよう努めていきたい。

### 6．ごみ問題（有料指定ごみ袋とごみ収集制度の改善）　6月議会に続き質問

**問**　流山市では、缶、瓶の回収にはごみ集積所に設置している麻袋を使用。将来的にはプラ製以外の素材の選択肢も視野に入れる可能性は。

**答**　国がプラスチック資源循環戦略を策定。プラ製品については再生材やバイオプラスチックの利用を促進するとしている。国の動向を参考に、選択肢の一つとして研究していきたい。

**問**　近隣市のように資源ごみの缶や瓶は1個、1本からコンテナ回収できないか？高齢者単身世帯の方々からは、ごみ袋がたまらない等、ごみ袋とごみ集制度の改善を求める声が多い。次回の議会でも引き続き他市の現状と比較し、佐倉市のごみ袋、ごみ収集方法改善を求める。

## 議案第29号　基本構想及び前記基本計画の策定について　継続審査

本市における令和2年度から13年度までの基本構想及び令和2年度から令和5年度までの前記基本計画を策定しようとするもの。

定例会最終日「総合計画関連議案審査特別委員会が設置」された。総合計画は、佐倉市の未来のためのすべての計画の基本であり、街づくりを進めていくための指針となる計画である。宇田みおこは、建設委員として審議にあたる。

## 8月定例会を終えて

6月一般質問で「検討する。」との回答の質問に、引き続き検討/進捗状況の答弁を求めた。「検討して参ります。」ばかりで、進捗状況に対する答えはない。

いつまでこのやり取り、そして「検討」は続くのだろうか？

8／15佐倉市平和式典にて

宇田みおこ新公式HP作成致しました。 udamioko.org